

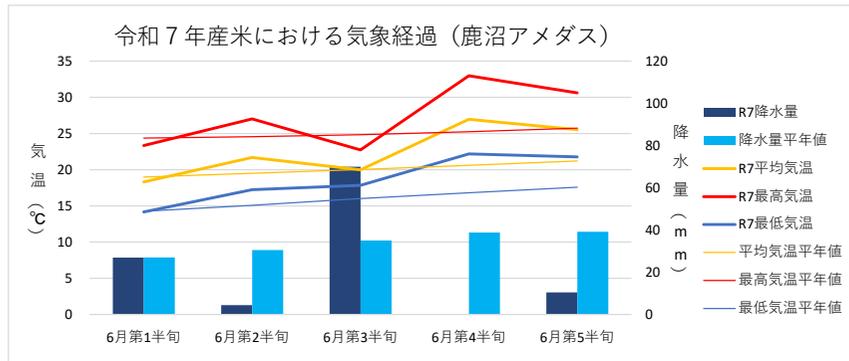
令和7(2025)年産 水稻生育診断速報第3号

令和 7(2025)年7月4日
上都賀農業振興事務所

- 茎数が確保されている場合は「間断かん水」を継続し、分けつが過剰にならないようにしましょう。
- 葉色が濃く、茎数が多い場合は中干しを行いましょう。
- 病害虫防除のタイミングを逃さないようにしましょう。

気象経過(鹿沼アメダス)

2025年6月第1～5半旬の平均気温は、6月第4～5半旬でかなり高くなりましたが、降水量は第3半旬で多くなったものの、期間では69%と空梅雨ぎみに推移しました。(6月24日現在)



調査結果の概要(コシヒカリ)

過去の平均と比べ、草丈は「長く」、茎数は「やや少ない～少なく」ほ場によって差が大きく、葉色は「並～やや淡い」状況でした。

(調査データ) 表 令和7年産生育診断ほ調査結果と過去の平均との比較

調査地点	項目	草丈 cm	茎数 本/m ²	1株茎数 本/株	葉齢	葉色板	
						葉色板	SPAD
日光市木和田島	今年	63.7	446.7	23.6	10.3	3.4	39.5
	過去5年平均	55.7	597.4	28.9	9.8	3.5	37.9
	平均値との差	8.0	-150.7	-5.3	0.5	-0.1	1.6
鹿沼市久野	今年	62.1	402.1	25.1	10.6	3.4	40.9
	過去4年平均	55.8	452.0	27.3	10.1	4.3	39.4
	平均値との差	6.4	-49.9	-2.2	0.5	-0.9	1.5

※鹿沼市久野はR2～5の4カ年平均

今後の技術対策

- (1) 目標茎数(コシヒカリで60株/坪で18～20本/株程度)が確保されている場合は、間断かん水を継続し、分けつが過剰にならないよう留意する。まだ茎数が確保されていない場合は、引き続き、夜間かん水、日中止水(浅水)とし、分けつ発生を促進しましょう。
- (2) 穂数やもみ数が過多となると、登熟が劣り、白未熟粒などの品質低下を招き、倒伏にもつながります。葉色が濃く、茎数が多い場合は中干しを行い、もみ数が過剰にならないよう注意しましょう。
- (3) 病害虫防除では、昨年のように出穂が早まる事が予想されるので、草刈りや薬剤散布のタイミングを逃さないようにしましょう。



写真1 日光市木和田島



写真2 鹿沼市久野

〈写真1、2ともに6/23撮影〉

病害虫防除特集

今回から、今年産で注意が必要な病害や害虫をピックアップして、防除対策を紹介していきます。(写真は農業総合研究センター提供)

1 紋枯病

感染すると、株元で灰色～茶褐色の病斑がみられ、次第に下葉から枯れ上がり、稲の茎が弱くなって倒伏しやすくなります。

夏季の高温や茎数が多く過繁茂になってしまった場合、発生が助長されます。穂首まで感染してしまうと登熟不良になりますので、水際部で初期発生がみられたら、幼穂形成期から乳熟期にかけて薬剤散布を行きましょう。



写真3 紋枯病

2 稲こうじ病

イネの幼苗期から出穂期に至るまでは病徴はなく、出穂した穂の籾に暗緑色で球形の病粒が発生し、病粒はもみや玄米、稲WCSの汚れの原因となります。

病原菌が葉鞘内部に局在しており、防除期間が短いので注意が必要です。昨年発生が見られたほ場で水稻を作付けしている場合、出穂 21～10 日前に銅を含む薬剤で防除を行きましょう。



写真4 稲こうじ病

3 斑点米カメムシ類

上都賀地域における稲穂を加害するカメムシは、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、イネホソミドリカスミカメ等があります。特に暖冬の翌年産では越冬量が多くなり、高温年では吸汁活動が活発になるため、被害が甚大になります。

また、令和5年産では県南部を中心にイネカメムシの多発生により、斑点米に加えて減収の被害も見られました。上都賀地域ではイネカメムシの被害は見られていませんが、今後注意が必要な害虫です。



写真5 上都賀地域の主なカメムシ類

(左上:クモヘリカメムシ、
右上:ホソハリカメムシ、
左下:アカスジカスミカメ、
右下:イネホソミドリカスミカメ)



写真6 県内で発生している主な斑点米カメムシ類

予察情報等で、斑点米カメムシ類の発生が多くなると見込まれる場合には、以下の防除対策を実施しましょう。

防除対策	除草	水田内 畦畔等	ヒエ、イヌホタルイの除草 2回の草刈り(①水稻の出穂2～3週間前、 ②水稻の出穂期)
	薬剤防除		1回目:水稻の出穂期～出穂10日後 2回目:1回目から7～10日後 3回目:2回目から7日後(多発地域や発生が多い年)

カメムシ類の最新情報や病害虫の発生情報は、以下のサイトを参照してください。

栃木県カメムシ防除作戦
特設サイト



栃木県農業総合研究センター
病害虫発生予察情報

